

Pick Up! 行政情報

平成27年度 行政改革の取り組みの報告

問い合わせ 政策推進課 ☎38-2127

より簡素で効率的な行財政システムを構築し、行財政運営についての透明性を高めて公共サービスの質の向上に努めるなど、諸課題の解決を図ることを目的として、平成24年度から平成28年度までの、44項目にわたる「行政改革実施計画」を策定し、市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら改革に取り組みます。平成27年度中の主な取り組み内容について、その概要をお知らせします。

■基本方針および27年度の実施状況(概要)

1 安定・効率的で持続可能な行財政運営

- ①経営資源の有効活用と収入の確保
- 老朽化したパイプライン施設の課題や問題点について、勉強会を計16回開催し、地元住民への説明・意見聴取を行いました。



電気自動車充電設備

●未利用土地については、市立芦屋高校跡地(12億3千万円)のほか、市有地3件(4億3178万9千円)を売却するとともに、駐車場等への貸し付けを行いました。

- 平成27年度に竣工した東館庁舎の照明機器をすべてLED化、屋上に太陽光発電システムを設置するなど、節電対策を行いました。また、電気自動車の充電設備を設置し、電気自動車の利用を促進しました。
- 市債を早期に償還するため、市債の繰上償還を実施し、平成27年度末の一般会計市債残高は約475億円となりました。

2 組織の活性化と人材の育成

- ①組織の効率化・課題解決型の柔軟な組織体制
- 給与等適正化計画に基づき、給与抑制等の給与制度の適正化を図りました。また、市長・副市長・教育長の期末手当を減額しました。この取組による実績額は1億1397万1千円となりました。

- ②事務の効率化・職場の効率向上
- 庁内の共通業務について、「職員ハンドブック」、「債権管理ガイドブック」、「芦屋市職員のコンプライアンス推進指針」等を作成しました。
- ③職員の意識改革・能力開発
- 庁内の「固定資産台帳の整備に係るプロジェクト・チーム」からの報告書により、新地方公会計の実施および公共施設等総合管理計画の策定に向けて活用しています。
- 管理職だけでなく一般行政職員を対象に人事評価制度の本格実施を行いました。
- 幅広い知識と経験を持った職員を採用するため、社会人経験者採用試験を初めて実施しました。
- 職員採用に当たり技術系職員の仕事内容をより理解してもらうため、職場見学会を実施しました。

3 市民から信頼される行政

- ①住民サービスの向上
- 待機児童解消策として、小規模保育事業所を2法人、幼児保育連携型認定こども園を1法人決定しました。
- 留守家庭児童会事業の高学年受け入れ体制の整備に向けて4年生を対象として条例改正を行いました。
- 大学等との共同事業の実施により、JR芦屋駅構内に市民マナー条例啓発パネルを制作し設置しました。また、市民マナー条例啓発うちわを制作し、キャンペーン等で配布するとともに、市ホームページ注目バナーにもイラストを活用しました。

②透明性の向上

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー)法施行に伴う個人情報保護条例の改正を行い、特定個人情報利用および開示等について規定しました。
- 広報紙については、文字を大きくし紙面構成の変更、見出しの付け方や文章を工夫し読みやすい内容となるように見直しを行いました。

③事務事業の見直し

- 第4次芦屋市総合計画後期基本計画の重点施策および重点取組の効果を検証する目安として「指標を設定し、進行管理に活用すること」を定めました。

- 「よりご理解いただくために」行政改革の詳細情報は市ホームページ、市役所北館1階の行政情報コーナー、図書館、公民館図書室、ラポルテ市民サービスコーナーでもご覧になれます。



本庁舎東館

- 「よりご理解いただくために」行政改革の詳細情報は市ホームページ、市役所北館1階の行政情報コーナー、図書館、公民館図書室、ラポルテ市民サービスコーナーでもご覧になれます。

8月10日~20日 芦屋市立中学生の海外派遣事業



現地ティーチャーガイドのお迎え

中学2・3年生6人がそれぞれアメリカ合衆国の家庭にホームステイし、日系2世パレードの見学、モンテペロ市役所訪問等を行いました。滞在中に山火事が起きるといったアクシデントがあったものの、現地の人たちが進んでボランティア活動をしている姿に触れることができるなど、たくさんの学びがあった11日間になりました。

9月1日には、市長・教育長への報告会を行い、派遣生6人がそれぞれ感じた日米の文化の違いや両国の良さを自分たちの言葉で発表しました。



英語による自己紹介、英会話等



モンテペロ市役所訪問

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

日々の生活と人権を考える集い2016/第43回芦屋市人権教育研究大会全体会

人権週間記念事業 人権週間12月4日~10日

- 第1部 ドキュメンタリー映画「みんなの学校」上映
- 第2部 大阪市立大空小学校初代校長 木村泰子氏 講演会

人権週間を前に、「すべての人々の人権が尊重される人権文化のまちづくり」をすすめるため、「日々の生活と人権を考える集い2016」を開催します。多くのかたのご参加をお待ちしています。

- 日時 11月16日(水)午後2時~5時(開場1時30分)
- 会場 ルナ・ホール
- 内容 発達障がいのある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子どもみんな同じ教室で学ぶ大空小学校。日々生まれ変わるように育っていく子どもたちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび...そのすべてをありのままに映したドキュメンタリー映画の上映と初代校長木村泰子氏の講演会。
- 定員 600人<手話通訳・要約筆記・託児あり>
※託児希望者は、子どもの名前・年齢月齢(6カ月~就学前児)・住所・電話番号を電話またはファクスで11月1日(火)までに下記へ
- 講師 大阪市立大空小学校初代校長・木村泰子氏



木村泰子氏

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055/☎38-8694